

- ① 期日及び会場
昭和52年7月4日(月)～7日(木) 福島県教育センター
- ② 内容及び講師
- ア 教職員の服務について
県教育庁義務教育課主幹 添田 信一
- イ 学校保健の諸問題について
県教育庁保健体育課主幹 埜 武
- ウ 学校保健と養護教諭の役割
県教育庁保健体育課保健係長 村田 吉三
- エ 学校における保健安全活動
県教育庁保健体育課指導主事 佐藤 十次
- オ 学校給食の諸問題
県教育庁保健体育課主任主査 坂本 栄
- カ 学校安全会給付事務について
学校安全会福島県支部主任 古川 忠信
- キ 養護教諭の執務について
県教育庁保健体育課兼任主事 折橋三恵子
- ク 健康診断の実際と事後措置について
福島市立福島第三小学校養護教諭 本田 光子
- ケ 保健委員会の活動と健康相談
福島市立岳陽中学校養護教諭 鳴原 トミ
- ③ 参加者数
小学校48、中学校17、高等学校4、計 69名

(5) 高校生バイク実技講習会

二輪車の運転免許を有する県内の高等学校生徒を対象に県警察本部、県交通安全協会等と共催で、バイクの安全運転実技講習会を開催し、交通安全教育の徹底と、交通事故の防止を図った。

- ① 期日及び会場
昭和52年6月23日～8月29日
県内58校(県立53校、私立5校)68会場
- ② 内 容
ア 安全運転の知識
イ バイクの安全走法
ウ 車両点検のしかた、等
- ③ 講 師
各所轄警察署交通課(係)長
県警察本部運転免許課員
〃 交通機動隊員
県二輪車安全運転推進委員会(特別)指導員、等
- ④ 参加者数
6,187名(ほかに交通法令のみの受講者 3,799人)
なお、高校生のバイク事故防止に資するため、保健体育課及び高等学校教育課の安全指導担当者が、県内27校を訪問し、学校長、担当者と交通安全指導のあり方等について話し合いを行った。

2 交通安全指導教具費補助

学校における交通安全指導の徹底を図り、交通事故の絶滅を期するため、下記市町村に対し交通安全指導教具の購入に要する経費を補助し、その整備充実に努めた。

保原町、伊達町、岩代町、二本松市、矢祭町、会津高田町、熱塩加納村、昭和村、只見町、浪江町

(補助額、22万円の $\frac{1}{2}$)

3 児童・生徒の健康管理費補助

(1) 要保護・準要保護児童・生徒医療費補助

要保護・準要保護児童・生徒のうち学校病(学校保健法第17条の政令で定める疾病)に罹患している者についての治療費を下記のとおり補助した。

① 県立学校分

学校名	区分	要保護	準要保護	疾病名	治療費額
もう学校			1人	う 歯	2,000円
ろう学校福島分校			5人	う 歯	8,768円
須賀川養護学校		6人	24人	う 歯	118,543円

② 市町村立学校分

治療者延べ数	所要医療費総額	補助金決定額
4,409人	14,919,431円	5,932,820円

(2) 小中学校児童・生徒健康増進特別事業費補助

児童・生徒の健康を増進し、情操教育に資するため、補助金を交付し、学校環境緑化促進事業を次のとおり実施した。

① 学校環境緑化促進事業

学校数	事業費	補助率	補助金
6校	4,693,790円	$\frac{1}{3}$	1,447,800円

4 へき地学校の保健管理費補助

(1) へき地学校保健管理費補助

医療機関等から遠隔の地にある飯館村において、健康診断、健康相談並びに環境衛生検査を実施したがその事業のために下記のとおり補助を行った。

飯 館 村	事業費	補助金
	658,000円	329,000円

5 教職員の結核健康診断結果

学校別 指導区分	小学校 (8,080)	中学校 (4,727)	高等学校 (4,963)	特殊学校 (431)	教育庁 (340)	計 (18,541)
A ₁		1				1
B ₂						
C ₂	2	3	3			8
D ₂	27	17	10	1	2	57
D ₃	85	54	60	3	23	225
計	132	75	73	4	25	309
率	1.63	1.58	1.47	0.9	7.35	1.66

()内は教職員数、率は%